基礎看護技術アップデート会　報告

令和８年９月28日

９月18日　宮本看護学校にて看護技術アップデート会がおこなわれました。
一部ではありますが、アップデート会の様子をご報告いたします。
＜目的＞・基礎看護技術のスキルアップ
・学校教員との交流を通し、学び合いの機会とする
＜内容＞＊シーツ交換の新しい技術

頭部・足部側どちらもコーナーは三角!!
理由）崩れにくい



枕カバーの開口部は一律にせず、患者様の個別性に合わせる

＊現在の教育カリキュラムについての説明
＊教科書のデジタル化（タブレット）
教科書の読み合わせ…数ページの中にも緊急入院」「福祉施設」「自宅退院」「災害」「委託業者」などのワードが出てきた
⇒時代のニーズ（地域包括ケア・災害看護・DXなど）の表現



＊指導アプローチの変化…「見て覚える」スタイルから学生の思考プロセスを尊重するコーチング型への指導へシフト
＊心理的安全性の確保…学生が安心して学べる環境づくりの重要性、現代の学生の気質に合わせた具体的な声かけの手法





＊施設見学…シュミレーションルーム（中央配管）
ハイブリッドシュミレーターモデル「シナリオ」
（呼吸、脈拍、心音、肺音、発声、吸引音、顔色の変化、生体情報モニターをリアルに再現する）
シナリオトレーニングができる

参加者の声



＊技術のアップデートができた。実習指導にすぐ活かせる内容だった。参加してよかった。
＊楽しく学ぶことができた

アップデート会で学んだ技術や学生の指導についての情報については、主任会議で共有し各部署へ伝達いたします。

次回のアップデート会　11月18日（金）17:40～　「与薬」

参加お待ちしています!!